

西三河地域水循環再生行動計画について

行動計画作成の流れと特徴

- 県民、事業者、民間団体、行政の各主体で構成される尾張、西三河及び東三河地域の各水循環再生地域協議会において、全構成員が協力し、地域に根ざした水循環に関連する取組を「行動計画」として取りまとめた。
- 作成に当たっては、行動計画作業部会を地域ごとに4回ずつ開催し意見ヒヤリングを行うとともに、座長によるアドバイスも反映して誰にもわかりやすく親しみやすい表現となるよう努めた。
- 地域における水循環に関する特徴と課題を具体化するため、西三河地域を河川流域を基本単位として「矢作川等流域」、「境川等流域」、「油ヶ淵等流域」及び「三河湾沿岸域(知多半島等)」の4つに細分化し、細分化した流域ごとに水環境の「特徴と課題」と「流域別目標」を示した。
- 行動計画に掲げた取組のうち、「流域における施策横断的取組」及び「連携・協働による新たな取組」については内容をシート化し、それぞれ「アクションシート」及び「パートナーシッププロジェクト」として示した。
- アクション・シート及びパートナーシッププロジェクトは毎年追加して行動計画の充実を図ることとした。
- 行動計画を着実に進めていくため新たに「行動計画フォローアップチーム(仮称)」を設置し、各構成員の取組状況の把握や情報共有等を進めることとした。
- 行動計画の期間は水循環再生基本構想と整合を図り10年とした。なお、水循環に係る研究成果などを行動計画に的確に反映させるため、20年度を初年度とし3年毎に目標達成状況の中間評価や目標の見直しを行うこととした。

○健全な水循環再生のため、流域の上流から下流までが一体となって水循環再生の取組を推進することが必要。
○地域の実情に沿った具体的な課題・目標・取組等を「行動計画」として取りまとめる。

- 1 自然・社会的特性 → 地域の地形、土地利用状況、産業構成などを記述
- 2 環境特性 → 水質、水・水辺の利用状況、水文化などを記述

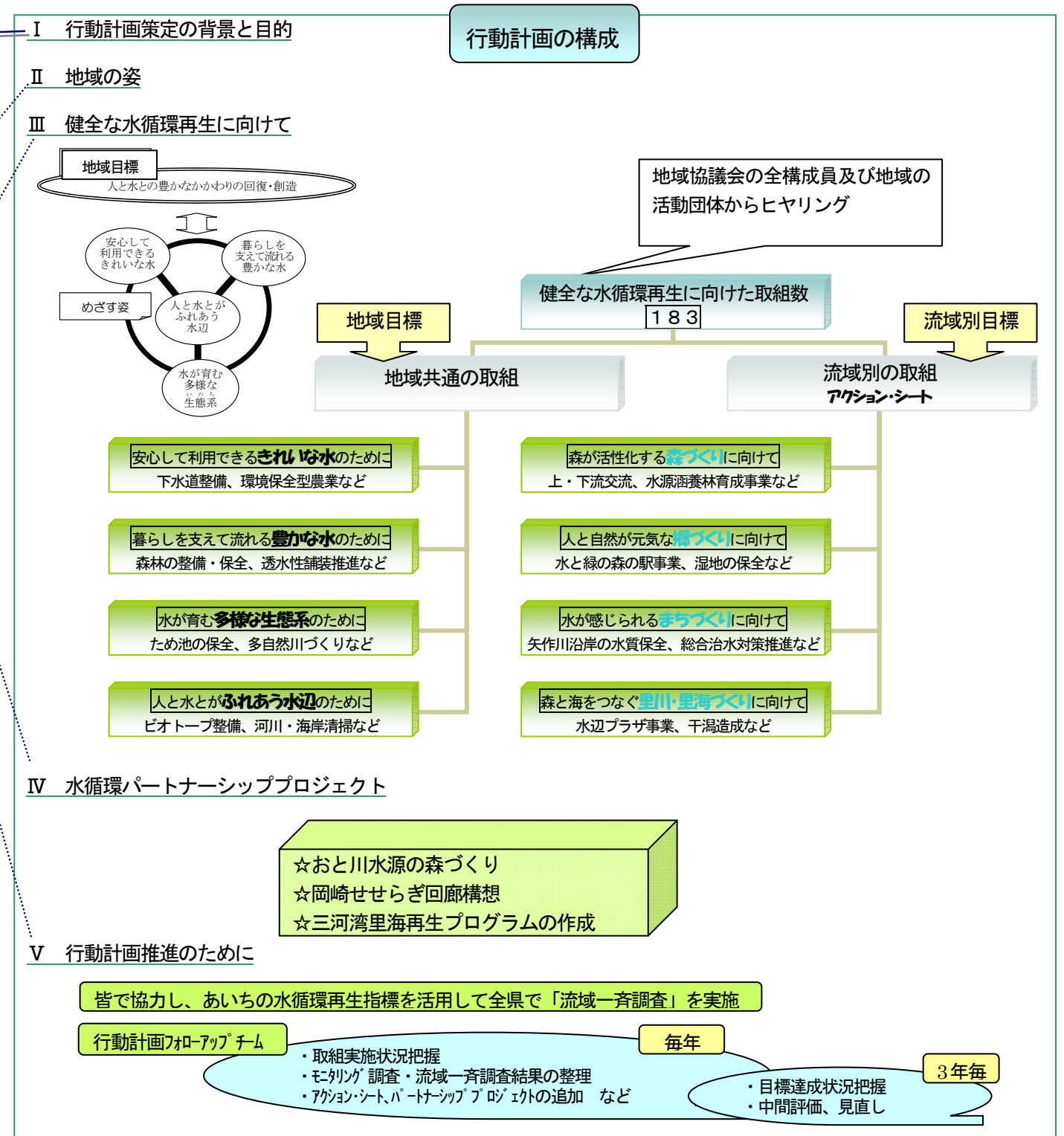
- 1 地域目標(地域に共通した目標)
- 2 地域共通の取組 } 森林保全、下水道整備など地域に共通した取組を、水循環のめざす姿で整理して記述
- 3 流域別目標(流域ごとに設定)
- 4 流域別の取組(アクション・シート) } 「森づくり」、「郷づくり」などの施策横断的な取組を具体的に記述

<アクション・シート数>

森づくり	郷づくり	まちづくり	里川・里海づくり	計
6	9	11	28	54

水質の浄化や水量の確保、水辺の整備・保全など健全な水循環の再生につながるテーマで、地域のニーズと特性にあった協働・連携の輪が広がるモデル的事業

- 1 各主体(県民・事業者・民間団体・行政)に期待される役割を記述
- 2 行動計画の推進に向けて
 - (1) 取組の進行管理
 - ・計画(Plan)、実行(Do)、点検(Check)、見直し(Action)のPDCAサイクルにより効果的に進行管理
 - (2) 取組実施状況の点検、計画の見直し → 「行動計画フォローアップチーム(仮称)」が窓口
 - ・行動計画に掲げた取組の中から指標として適切な項目を選定し、効果的に取組の実施状況を把握
 - ・県民・事業者・民間団体・行政が協力して「あいちの水循環再生指標」を活用し、モニタリング調査や流域内で調査日を定めて行う「流域一斉調査」を経年的に実施
 - (3) 情報の共有と発信
 - ・取組実施状況の点検結果等は、ホームページなどから発信し情報を共有化



流域別目標と水循環アクション・シート等の概要

西三河地域

～水が結ぶ森・郷・里川・里海～

境川等流域の目標

- ☆多様な動植物が見られる河川環境
- ☆保水・かん養や生物の住処をもたらすため池の回廊

アクション・シート

- ◎湿地・ため池の保全
- ◎総合治水対策の推進
- ◎水辺空間の整備
- ◎合流式下水道の改善
- ◎海域の浚渫 等

矢作川等流域の目標

- ☆上下流連携した森林整備、瀬や淵など自然環境の保全による流域一帯の川づくり
- ☆山から海までをつなぐ、鳥、カエル、チョウ、トンボなど、いろいろな種類の生物の移動ルートの確保
- ☆総合学習の場として利用できる干潟など親水空間の保全

アクション・シート

- ◎水源地域の森林整備
- ◎おと川バ・ヘッド大作戦
- ◎豊田市100年森作り構想
- ◎自然環境基礎調査の実施
- ◎湿地の保全
- ◎水とみどりの森の駅事業
- ◎矢作川沿岸の水質保全
- ◎干潟・浅場の造成
- ◎干潟観察会の実施 等

境川等流域

矢作川等流域

油ヶ淵等

三河湾沿岸域 (知多半島等)

三河湾沿岸域の目標

- ☆水辺を散歩したいり川
- ☆生き物をはぐくむため池を守る。

アクション・シート

- ◎湿地の保全
- ◎港湾環境整備事業
- ◎海浜の清掃活動
- ◎水生生物調査 等

油ヶ淵等流域の目標

- ☆湖畔の散歩道において不快に感じなく、水辺で湖底が見られる。
- ☆湖内全域で魚が生息できる。
- ☆川の辺りを眺めたり散歩が楽しい。

アクション・シート

- ◎環境保全型農業の推進
- ◎生活排水モデル地区事業
- ◎油ヶ淵の浄化対策
- ◎油ヶ淵流域水環境エリカ等

水循環パートナーシッププロジェクト

〇おと川水源の森づくり事業 <おかざき自然体験の森・きこりの会>

岡崎市を中心とした乙川流域において、水源域の森林整備や保全を促進するための人材の育成とリーダーの養成を行い、実質的な森林整備活動につなげ、乙川水源域の森林整備を促進する。

〇岡崎せせらぎ回廊構想 <愛知県西三河4事務所 岡崎市>

岡崎市と県西三河4事務所は乙川・男川周辺にある現況資源や計画事業を有機的に連携させ、広域市における都市と農山村地域の交流強化を図り、新たな効果を生み出す為作成した「岡崎せせらぎ回廊構想」を整備計画として具体化し推進するため、官民一体となった協働体制として、「(仮称)岡崎せせらぎ回廊協議会」の設立を目指す。

〇三河湾里海再生プログラムの作成 <愛知県環境部・農林水産部・建設部>

自然の恵み豊かな海「里海」の再生に向け、海域環境改善の効果的な取組を明らかにし、「三河湾里海再生プログラム」として取りまとめる。